

データと事例でひも解く インバウンド新時代を勝ち抜く 「攻め」のマーケティング



参加
無料

2027年

1月21日 木 13:30 – 16:30

開催方法 オンライン (ZOOM)

定員 100名

○セミナー概要

インバウンド市場の最新データから「現在地」と構造変化を解説。コト消費や高付加価値体験へのシフトを踏まえ、夜間観光や価格戦略の実例、体験事業のWeb集客、海外展示会×越境ECの物販開拓など、多角的な実践事例を凝縮して紹介します。単なる受け入れ対応にとどまらず、新時代を勝ち抜くためのアプローチを提示。地域や事業者の皆様に向け「旅マエ・旅ナカ・旅アト」を踏まえた、次の一手となる「攻め」のマーケティング戦略をお伝えします。

こんな方にオススメ！



販売の新しいノウハウを知りたい方



海外の需要を活かしたい方



マーケティングに興味のある方



越境ECに興味のある方



インバウンドの状況を知りたい方

お申込み

メールまたは二次元コードから



igyousyu@city.kanazawa.lg.jp



○講演内容

ビッグデータと長野県事例から紐解くインバウンド市場の変化と実践 (柳澤智生)

訪日客の消費動向が「モノ消費」から「コト消費・高付加価値体験」へ転換する中、ビッグデータから探る最新市場動向を解説します。さらに長野県内での夜間観光や体験型宿、価格戦略の実例を交え、地域の小規模事業者が持続可能なインバウンド需要を取り込むための実践手法を提示します。

中小企業のための「攻め」のWeb活用 ～インバウンド獲得と越境ECの実践事例～

(平本祐資)

訪日客が増え続ける今、待っているだけでは需要を取りこぼしてしまいます。

本講演では、訪日客の予約につなげる体験型事業のWeb活用と、海外展示会と越境ECを組み合わせる海外販路を切り拓く物販ブランドの取り組みという、性格の異なる2つの実践事例を紹介します。

インバウンド新時代の「攻め」のマーケティング (大野尚弘)

訪日外国人観光客の急増と消費パターンの変化に伴い、インバウンド市場は新たな局面を迎えています。消費額・費目構成データを基にインバウンド市場の「現在地」を知り、先進地域の成功事例から、自社や地域に応用できる再現性の高い「攻め」のマーケティングを提示します。「旅マエ・旅ナカ・旅アト」のフレームワークに沿って、具体的で実践的なマーケティングをお伝えします。

石川県の外国人宿泊者数の推移

2025年は約128万人で過去最多(3年連続更新) / コロナ前2019年の約1.7倍



※2020～2022年は新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少。2024年は能登半島地震(1月)の年だが、外国人宿泊者数は前年比+42.9%と増加。
出典:石川県「統計からみた石川県の観光」各年(観光入り込み客数調・外国人宿泊者数)、石川県「令和7年観光入り込み状況について」

○講師紹介



柳澤 智生

(やなぎさわ ともお)

株式会社サ・プ・ネ代表取締役
中小企業診断士、ITコーディネーター
CVSのスーパーバイザー、信用調査会社の調査員を経て、2017年創業。各種経営支援のほか、会社のマネジメント受託、交渉業務(M&A、事業連携等)受託を行っている。



平本 祐資

(ひらもと ゆうすけ)

株式会社Ludius 代表取締役

デザイン・WEB制作・マーケティング会社「株式会社Ludius」代表取締役。商業・工業問わず、中小企業のWeb集客やDX推進を支援。『中小企業の経営と診断』第11章「中小企業の情報戦略」を執筆。



大野 尚弘

(おおの たかひろ)

金沢学院大学経済学部
経営学科教授

2020年より金沢学院大学経済学部経営学科教授。経営学科長。専門は、流通論、マーケティング論。担当科目に国際マーケティング、消費者行動論がある。

申込締切 2027年1月13日(水)

- ▶ メール申込の際はお名前、(所属の場合は)会社名、連絡先を記載ください。
- ▶ 当日はZOOM参加になります。セミナー開始の15分前から入室可能です。
- ▶ 金沢市または近郊に事業所がある、企業・個人事業主・研究開発機関、行政機関等が受講対象となります。
- ▶ お申し込みいただいた方には、今後金沢市からセミナー等のご案内を差し上げる場合がございます。